

令和5年11月22日

瀬戸内市議会議員

瀬戸内市議会議員 厚東 晃央

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期間	令和5年11月7日(火)
研修会名	第65回市町村議会議員研修会 zoom 開催
開催場所	オンライン
研修内容	<p>マイナンバーカードの「市民カード化」－その構造と問題点－ 講師：稲葉一将 氏（名古屋大学教授）</p> <ol style="list-style-type: none">1, マイナンバー制度の概要とマイナンバーカードの機能<ul style="list-style-type: none">・デジタル改革の経緯とマイナンバー制度の位置について・マイナンバー制度におけるマイナンバーカードの機能について・マイナポータル「キー」について2, マイナンバーカードの「市民カード化」の構造と実例<ul style="list-style-type: none">・「市民カード化」の構造について・将来的に何が起きてくるのかについて3, 住民の権利を保護・実現するための地方議会の役割<ul style="list-style-type: none">・広義の個人情報保護について・平等原則の実現について <p>事例報告 加賀市医療版情報銀行の検討 報告者：木村吉伸 氏（いしかわ自治体問題研究所事務局長）</p> <ul style="list-style-type: none">・スマートシティ加賀の基本理念について・加賀市のスーパーシティで実現を目指すステップについて



	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーシティ&デジタル田園健康特区の指定について ・デジタル田園健康特区関係の加賀市の概要について ・「医療版」情報銀行制度の仕組みについて ・「医療版」情報銀行のシステム構成について ・「医療版」情報銀行を核とした先進的な健康医療サービスについて ・「医療版」情報銀行構想の条例について ・地方自治の危機・自治体をめぐる状況の厳しさについて <p>事例報告</p> <p>マイナンバーカードの図書館カード利用</p> <p>報告者：岡田 章宏 氏（兵庫県自治体問題研究所）</p> <p>1, マイナンバーカードの図書館カード利用の方式について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カード AP 方式について ・公的個人認証方式について ・マイキーID 方式について <p>2, 「貸出履歴」の利活用の動きについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「貸出履歴」の法的位置づけについて ・近年図書館で進行しつつある動きについて ・捜査機関への「貸出履歴」の提出について ・デジタルネットワーク環境における図書館利用のプライバシー保護ガイドラインについて
<p>所感</p>	<p>マイナンバーカードの普及は一見便利な世の中になるように感じるものかもしれないが、情報の管理や行政の一本化など行政サービスの縮小や個人情報の漏洩などにもつながる危険性を感じた。しかし、国の方針によりさまざまな独自の取り組みが広がっている。医療情報や図書館カードの利用の事例報告からも便利と危険の表裏一体である。また、行政を担う公務員の削減もされる恐れがあると改めて感じた。</p> <p>わが市でもマイナンバーカードの普及に努めているが、住民票などの交付以外は広がっていない。現状では、マイナンバーカードの普及も活用の拡大も必要ないと感じる。</p>